

授業 科目	CT1J57	0.5 単位	選択	実習	1 学年前期	担当 教員	川田公仁 桜井ますみ			
	教育実習指導						中川武 小野崎美奈子			
授業の概要	① 幼児教育者としての仕事の厳しさと責務の重大さを理解するために、幼児教育現場における具体的体験が不可欠であることを理解する。 ② 充実した教育実習となるよう、実習に向けての準備と心構え（実習前・実習中・実習後）について指導する。 ③ 建学の精神である忍耐と進取の気概をもち教育実習を体験することにより幼稚園および認定こども園（以下、幼稚園等とする）の実態と保育者の役割を理解し、今後の学習課題の具体化を図る。									
到達目標					学習成果Ⅰ		学習成果Ⅱ		学習成果Ⅲ	
					①	②	③	④	⑤	⑥
1. 教育実習指導および教育実習の目的を理解する。					◎	◎	◎	◎	◎	◎
2. 教育実習における守秘義務、個人情報の保護を理解する。					○	○	◎			◎
3. 実習日誌の書き方など記録技術について理解する。								◎	◎	◎
4. 教育実習指導および教育実習を通して、自己の課題の明確化を図る。								○	○	○
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照										
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習			
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> シラバスを読んでおく。 教科書 p8-11 を読んでおく。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育実習指導と教育実習の概要と目的を理解する。 				<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめておく。 			
2	教育実習の目的と概要Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育所、認定こども園の違いを調べる。 教科書 p12-17 を読んでおく。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育実習の意義と目的を理解する。 幼稚園、保育所、認定こども園の違いを理解する。 				<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめておく。 保育者を指す上で実習を体験することがいかに重要か自覚する。 			
3	教育実習の目的と概要Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 白梅の精神を確認する。 見学実習をする附属幼稚園の概要を調べる。 教科書 p18-21, 24-25 を読んでおく。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習生としての心構えを学ぶ。 建学の精神である「白梅の精神」をもって実習に臨む態度について学ぶ。 				<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめておく。 実習生としての心構えを日常生活において意識する。 			
4	3～5 歳児の発達 体験実習に向けて①	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 p34-47 を読んでおく。 	<ul style="list-style-type: none"> 3～5 歳児の発達や遊び、かかわり方を理解する。 附属幼稚園で実施する体験実習について、概要と心構えを理解する。 				<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめておく。 			
5	実習日誌の書き方①	教科書 p84-87 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 実習日誌がなぜ必要なのか理解する。 実習日誌の取り扱いについて理解する。 				<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめておく。 			
6	実習日誌の書き方② 見学・観察実習に向けて②	教科書 p76～77 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 実習日誌の基本的な書き方を理解する。 附属幼稚園で体験実習をするにあたっての心構えを理解する。 				<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめておく。 			
7	見学・観察実習事後指導	見学実習の日誌を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 3～5 歳児の発達段階を確認しながら見学実習を振り返り、自身の課題を整理する。 自分の課題について、今後どのように取り組んで行くのか考える。 				<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容をまとめておく。 今回認識した自己の課題を意識し、取り組む。 			

8	実習日誌の書き方③	教科書 p82-83 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習課題の立て方、考察の書き方を理解する。 ・実習日誌の環境図とまとめの書き方を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
9	指導案の立て方①	教科書 p96-97 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案がなぜ必要なのか理解する。 ・指導案を立てる上でのポイントを理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
10	事前訪問指導 I	事前訪問の日程および実習園の所在地を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前訪問の目的を理解する。 ・実習に必要な書類等を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容をまとめておく。 ・不足している書類等がある場合は早急に対応する。 ・実習園に電話をかけ、事前訪問の日時等の確認をする。
11	事前訪問指導 II	事前訪問の目的を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前訪問の目的を再確認する。 ・事前訪問時に確認が必要な事項を理解する。 ・実習園訪問時のマナーの確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人への第一歩であることを自覚して事前訪問に臨む。 ・事前訪問時に実習園から伝えられた内容を記録し、後日授業担当者に提出する。 ・実習日誌の「実習園の概要」を記入する。
12	指導案の立て方②	教科書 p112-113, 116-117 を読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案の立て方を理解する。 	本時の学習内容をまとめておく。
13	直前指導	これまでの学びをふまえて実習準備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば国際短期大学附属幼稚園教諭による講話 ・実習開始前にすべき事項の確認をする。 ・実習の心構えを確認する。 	これまでの学びをふまえ、実習に臨む。
14	事後指導①	<ul style="list-style-type: none"> ・礼状を作成する。 ・実習体験発表の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告会① 	自身の実習での体験を客観的に振り返り、課題として残ったことを確認する。
15	事後指導②	<ul style="list-style-type: none"> ・実習体験発表の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告会② 	自身の実習での体験を客観的に振り返り、課題として残ったことを確認する。
成績評価	レポート等の提出物 (50%)、授業への取り組み (50%) 合計 100%			
教員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・実習は受け入れてくださった幼稚園等の多大なご協力があって初めて実現できるものです。「実習をさせていただく」という感謝の気持ちを忘れず授業に臨んでください。 ・実習生としての心構えや社会人としてのマナー、個人情報の取り扱いなど日頃から意識して実習前に身につけるようにしましょう。 ・授業は教科書と配布プリントを併用して行います。配布プリントはファイルに綴じ、授業時に毎回持参してください。 			
教科書	書名 幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド 著者 小櫃智子・守巧・佐藤恵・小山朝子 発行所 わかば社	推薦図書	書名 著者 発行所	